

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 慢性維持透析患者のデノスマブ投与の検討

[当院研究責任者] 部署名 臨床工学部 氏名 金城 陽子

[研究の背景と目的] 透析患者は健常人に比べて大腿骨頸部骨折の頻度が高く、骨折を起こすと死亡リスクが上昇すると報告されている。透析患者に対する骨粗鬆症治療はいずれの薬剤も使用回避または慎重投与の必要がある。そこで骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015年版でも有効性評価がすべてグレード A とされている抗 RANKL モノクローナル抗体のデノスマブが、透析患者への投与により骨代謝などへ及ぼす影響を検討することを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2018年1月から2023年9月末までにデノスマブを5回以上投与した慢性維持透析患者

●研究期間：実施許可から 2023年5月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

年齢、性別、原疾患、透析歴、治療薬、透析条件、生化学検査、内分泌学検査、腫瘍関連検査、骨塩定量検査

●利用する検体やカルテ情報の管理

データは当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 臨床工学部 氏名 金城 陽子

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139